

先生方へ、今日の校長の原稿をお渡ししておきます。難しい内容になります。キーワードを黒板に書いて、補足してあげてください。終わった後の簡易説明（特に低学年）もお願いしておきます。

明道小学校の歴史（2022/05/02 明道小 校長 後藤世志哉）

今年は、明道小学校にとって、とても大切な年になります。
学校がきて、150年が経った記念すべき年なのです。
つまり、明道小学校は、150才になりました。

ところが、秘密を探ると、実は、150才どころではない、ことが分かつてきました。

実は、1778年に、島津の殿様が作られた、「稽古所」というものが、明道小の種になる学校だったのです。

ですから、考え方によっては、この学校は、244才であるともいいうことができます。
信じられない古さですね。明道小を「伝統の深い学校ですね」と言われる方がおられます。
それは、この稽古所からの歴史、244才であることをご存知の方が言われる言葉なのです。

では、これから、明道小の歴史を辿ってみましょう。

先生方、黒板に、明道小の歴史を書き出してあげてくださいませんか？

- ① 1778年 244年昔、島津の殿様により、「稽古所」が開設。
時代はもちろん、江戸時代、武士は、ちょんまげ、刀を刺している時代です。
- ② 1779年 「御稽古所」と名前が変わります。（後に、「御稽古館」に呼び名が変化します。）
- ③ 1795年 坂元正衡（マサヒラ）校長先生により、「学制三章」が定められます。
「人倫」「礼儀」「躬行」が、この時、定められました。実に、227年前のことです。
- ④ 1855年 明道館と名前が変わります。
つまり、明道の名前は、「167年前」に、定められたことになります。
- ⑤ 1872年 都城小学校として、開校します。この時、初めて、小学校という言葉が生まれています。
それが、150年前ということです。
- ⑥ 1931年 都城尋常小学校と名前が変わります。
- ⑦ 1932年 都城明道尋常小学校と名前が変わります。
 - 1935年 天皇陛下が明道小に来校されました。その碑が正門にある「聖蹟」という碑です。
- ⑧ 1941年 都城明道国民学校と名前が変わります。
 - 1945年 戦争の空襲により、校舎が全焼します。
- ⑨ 1947年 都城市立明道小学校と名前が変わります。
つまり、今の名前になったのは「75年前」です。

全ては紹介しませんでしたが、244年前に稽古所ができて、この明道小は、実に、10回も名前が変わっているのです。

この学校がすごいのは、稽古所ができた時の、心構え、「子供の心や体を立派に育てることが大人の大切な仕事である」ことを、244年間、守り続けてきたことですね。

そして、227年前の、坂元校長先生の言葉、「明道館学制三章」の心がいまだに、生き続けているのです。
ですから。「人倫を明らかにして、礼儀を尊び、何事も、実践躬行を行なっていくべし」「人倫、礼儀、躬行」と言う、素晴らしい教えは、過去の相当な数の、明道小の卒業生、全ての子どもたちへの「共通の」教えなのです。

事実、この学校を卒業した人からは、たくさんの、有名な人が生まれています。政治家、学者、お医者様、看護師さん、先生、社長、実業家、会社経営者、公務員、教育長、スポーツ選手、映画監督、など。もちろん

ん、たとえ、有名でなくとも、この地域を故郷と思い、社会のために尽くす、素晴らしい人たちが、たくさん卒業生として、生まれ続けているのです。

さて、明道小学校という名前について、一つ、すごいことを教えておきましょう。

「明道」というのは、地名でも、方角でもありません。

学校の名前というのは、東小、南小、姫城中、大王小、というように、方角や、町の名前で付けられています。ところが、宮崎県で、その約束を守っていない学校が、一校だけ、あるのです。

それが、明道小です。「明道」とは、「人間の守るべき大切な道徳」という意味です。

このように、方角、地名以外に、道徳的な言葉の名前の付いた学校は、宮崎県では、明道小だけなのです。これもすごいことです。

さて、学校ができた明治時代の頃の生活は、どんな生活だったか、簡単に紹介しておきます。

○弁当 その頃、給食はもちろんありませんでした。弁当でした。弁当と言っても、食べ物も粗末な時代です。おにぎりを2個、おにぎりには梅干しが入っているだけの、質素な弁当だったそうです。お金持ちは、おかかを入れたり、魚の干物を入れたりして、「贅沢だ」と言われている時代でした。

○遊び もちろん、テレビゲームはありません。鬼ごっこ、かくれんぼ、お手玉、縄跳び、おはじきなどで、遊んでいたそうです。

○靴 靴はもちろんありません。下駄、草履を履いていたそうですが、多くの子供は、裸足で登下校していました。まだ、寒い時代。霜柱の大きいものが出でても、裸足で歩いて登校しました。昔の人は相当、忍耐強かったのですね。

○遠足 バス・電車はありません。もちろん、歩いて、遠足や修学旅行に行っていたそうです。鹿児島の修学旅行に、行くときは、途中で一晩休んで、2日がかりで、山を越え、歩いて行きました。歩いて鹿児島市まで行く勇気が皆さんにありますか？

○お勉強 ノートや鉛筆は、ありませんでした。石板（せきばん）と石筆（せきしつ）という、ミニ黒板のようなものが、唯一の記録用具でした。子どもたちは、大切に、使っていたそうです。

その頃の子どもたちが、今の君たちの生活を見たら、どうでしょうか。さぞ驚き、ひょっとしたら、贅沢さに、怒られるかもしれませんね。

最後に、校長先生から、お願いをしておきます。

これまで述べてきた通り、この明道小は、実に歴史が深く、卒業生の名誉に満ちた、素晴らしい学校です。ですから、君たちは、この明道小学校の子供であることを、誇りに思い、これから学校生活を大切にしてください。

また、昔の人は、本当に、苦労をして、頑張って、学校に来て、喜んで多くのことを学んでいたことを忘れずに。今、君たちは、大人に守られ、大切にされて裕福に何一つ困らずに育っている、今の幸せに感謝を忘れずに、毎日を過ごしてください。

244年の歴史ある小学校、227年前の明道館学制三章の心に満ちた学校、小学校として150年の歴史深い明道小学校。これからも200名の仲間で、歴史を刻んで行ってください。

さあ、コロナ禍で、今、社会全体が、沈んでいます。君たちも自由に友達と遊べず、悲しい思いをしています。そんな君たちを少しでも元気づけようと、PTA会長や役員さん方、先生が、力を合わせて、今年は、150周年のたくさんのイベントを行なっていきます。

実は、今日の「お絵描きデー」は、その第一弾！この後も、ユニセフの訪問を受けたり、明道小出身の有名な映画監督をお呼びしたり、立派な大きなホールで、映画を見たり、大きな壁画を描いたり、あさぎりの会で歌ったり、飛行機から航空写真を撮ったりと、たくさんのイベントを実施していくつもりです。

どうぞ、1年間、楽しい時間を過ごしてください。

やっど！やっど！明道小！

明道小学校の歴史

- ① 1778年（安永7年） 島津久倫 公により、「**稽古所**」設立 武士の子供に文道武芸の指導を始める。
- ② 1779年（安永8年） **御稽古所**（**御稽古館**）と改称。
- 1795年（寛政7年） 坂元正衡（まさひら） 学頭 学制三章を定める。
- ③ 1855年（安政2年） **明道館**と改称。
- ④ 1872年（明治5年） 学制により、**都城小学校**として、開校式を行う。 (4/11)
- ⑤ 1893年（明治26年） **都城尋常高等小学校**と改称。
- ⑥ 1931年（昭和6年） **都城尋常小学校**と改称。
- ⑦ 1932年（昭和7年） **都城明道尋常小学校**と改称。
- 1935年（昭和10年） 天皇陛下御来校。
- ⑧ 1941年（昭和16年） **都城明道国民学校**と改称。
- 1945年（昭和20年） 8月6日焼夷弾攻撃により校舎全焼。
- ⑨ 1947年（昭和22年） **都城市立明道小学校**と改称。

※ 御稽古所→御稽古館へ改称されたタイミングは不明。この改称をカウントすると、全10回の名称変更が生じていたことになる。